

| | | |
|---|---|---|
| <p>児童生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○真面目、素直、やさしい児童生徒が多い ○上級生、下級生の分け隔てがなく、仲がよい ○上級生は下級生に対し親切で面倒見がよい ●人間関係が固定化されており、のんびり ●自分の考えを表現することが苦手 | <p>学校教育目標</p> <p>よく考え、進んで実践する子 思いやりの心と責任をもつ子 丈夫な身体と強い意志をもつ子</p> | <p>家庭・地域の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明るく素直で思いやりのある子 ○自ら考え協働して学び主体的に行動できる子 ○夢や目標に向かって挑戦できる子 ○たくましく自立できる子 ○ふるさと植苗を誇りにもつ子 |
|---|---|---|

| | | |
|--|--|---|
| <p>目指す学校像</p> <p>あいさつが響き、思いやりあふれる学校 子供達も教職員も成長を実感できる学校 地域とともにある学校</p> | <p>学校経営の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「植苗の強み」を活かした教育活動の推進 2 教職員が協働して活動する教育活動の推進 3 地域や保護者から信頼される教育活動の推進 | <p>目指す教職員像</p> <p>「ともに学び、実践する教職員」</p> <p>～あいさつ 思いやり ともに学んで実践～</p> |
|--|--|---|

目指す子供像 「ともに学び、実践する子」 ～あいさつ 思いやり ともに学んで実践～

【育成を目指す資質・能力】 協働する力 ⇒ 互いの違いを認め、自他を尊重し、ともに課題に取り組む力
 問題解決力 ⇒ 課題に対して様々な方法を考え、最適な解決策を実践する力

| | 協働する力・問題解決力の育成 | | | |
|---|-------------------------|-----------------------|--|--|
| | あいさつ | 思いやり | ともに学ぶ | 実践する |
| 【高等部】8～9年生 学びを伸ばし自分の生き方を追求する力を身に付ける | あいさつ・返事が当然のこととして身に付いている | 思いやりのある行動ができる人のために働ける | 互いの違いを認め、自他を尊重しながら、ともに様々な方法を考え、最適な解決策を見つけることができる | 自ら課題を設定して自分なりの考えをもち、最適な解決策を実践し振り返り次につなげることができる |
| 【中等部】5～7年生 学びを追求し人間関係を結ぶ力を身に付ける | 自ら進んであいさつ・返事ができる | 相手の立場にたち思いやりのある行動ができる | 相手の話を受け入れながら自分の考えを伝え合い、最適な解決策を見つけることができる | 自ら課題を設定して自分なりの考えをもち、最適な解決策を実践し振り返ることができる |
| 【初等部】1～4年生 学びや生活の基礎となる力を身に付ける | あいさつ・返事ができる | いじめ・いじわる・いやがらせをしない | 相手の話を聞き自分の考えを伝え合うことができる | 課題に対して考え話し合って決めたことを実践し振り返ることができる |

| 学校教育目標の具現化に向けた取組 | | |
|--|---|--|
| 知 「よく考え進んで実践する子」 | 徳 「思いやりの心と責任をもつ子」 | 体 「丈夫な身体と強い意志をもつ子」 |
| (1) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 ・9年間一貫した植苗授業スタイルへの挑戦 (2) 9年間一貫した学習規律・家庭学習習慣の確立 ・植苗コネクットの徹底 (3) タブレットの効果的な活用 (4) 指導と評価の一体化(主体的に学ぶ態度) (5) 特別な配慮を要する児童生徒への適切な支援 (6) 読書習慣の確立 | (1) いじめ・不登校問題の未然防止 ・自己肯定感をはぐくみ、居場所のある学級・学校づくり ・思いやりの心の醸成と人のために働く意識の向上 ・深い児童生徒理解(個人カルテの活用) ・心に寄り添う組織的な教育相談体制の確立 ・児童生徒会等による主体的な取組の創出 (2) 小中一貫したきまり・生活習慣の確立 ・あいさつの徹底、植苗コネクットの徹底 (3) 特別な教科道徳の授業改善「考え議論する道徳」 (4) よりよい生き方を身に付けるキャリア教育の充実 | (1) 体力・運動能力の向上 ・体力向上に向けた日常の取組の推進 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析と改善 (2) 健康教育・食育の充実 ・メディアとのよりよい関わり方への啓蒙 ・防犯教室、性教育、食に関する指導等実施 (3) 生活リズムの確立 ・生活健康調査及び教育相談の実施 |

| 学校教育目標の到達指標 | | |
|--|--|--|
| ☆児童生徒アンケート(肯定的回答) ・「仲間とともに授業している」 85%以上 ・「学習のきまりを守っている」 85%以上 ・「毎日宿題家庭学習に取り組んでいる」 85%以上 | ☆児童生徒アンケート(肯定的回答) ・「あいさつができる」 90%以上 ・「思いやりある行動ができる」 85%以上 ☆いじめアンケート調査 ・「いじめは許されない」 95%以上 | ☆児童生徒アンケート(肯定的回答) ・「運動をする取組を行っている」 80%以上 ☆生活健康調査 ・「早寝早起きし、朝食を食べた」 85%以上 |

| 全教職員の行動の指針 | |
|--|---|
| (1) チャレンジする姿を (2) 学び続ける姿勢を (3) 全教職員が一枚岩に (4) すべての人に誠意ある対応を (5) 常に最悪を想定して (6) 不祥事のない職場を (7) 心身ともに健康な身体を | 新たな課題に柔軟に、積極果敢に挑戦 子供にとって最重要な教育環境は教職員 学校は組織体、ベクトルを合わせて 家庭・地域・関係諸機関との連携 初動を迅速に、事実を正確に報連相・記録 交通違反、体罰、不適切な行為はしない 毎月2回定時退勤、19時施錠の日常化 |